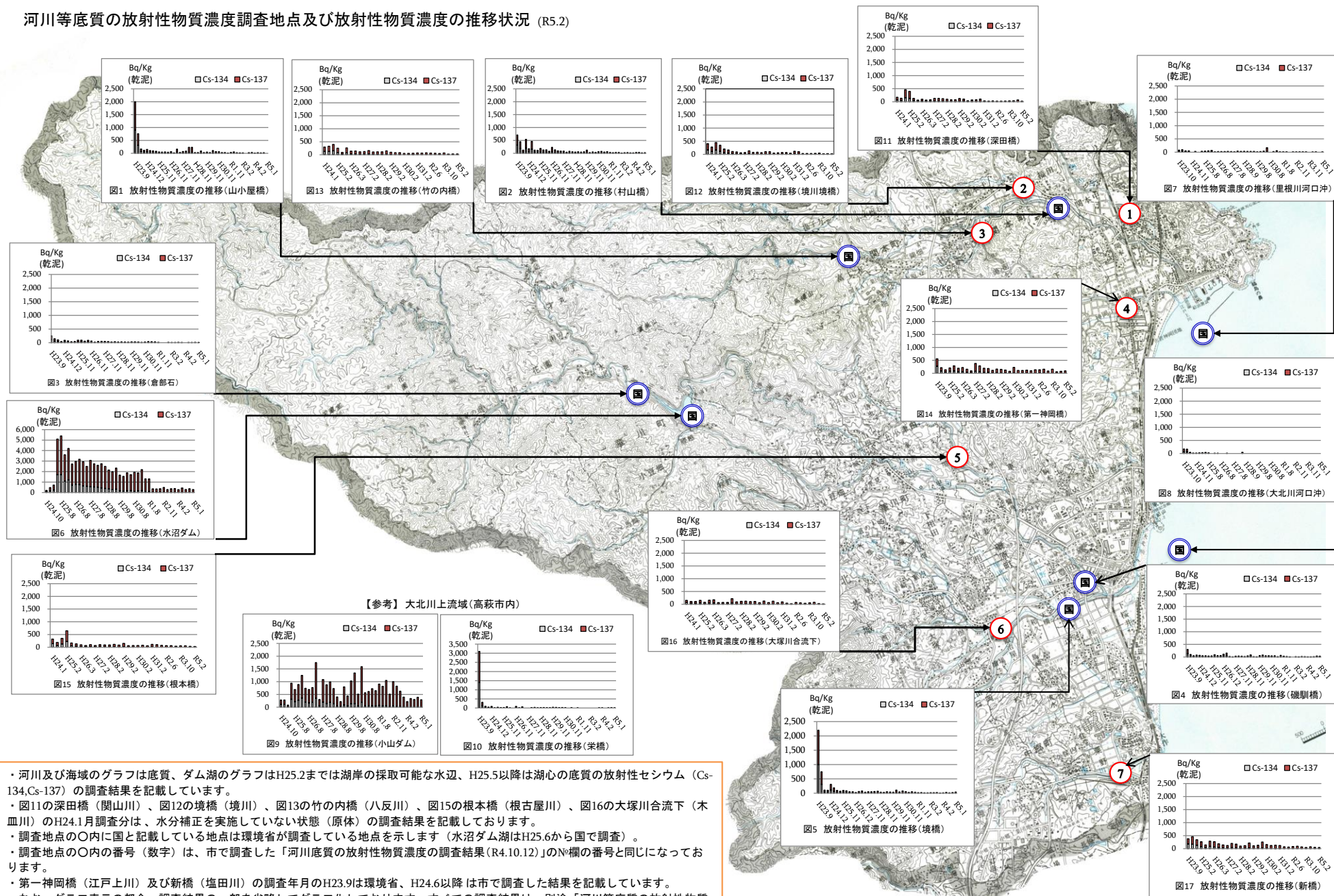


河川等底質の放射性物質濃度調査地点及び放射性物質濃度の推移状況 (R5.2)



- ・河川及び海域のグラフは底質、ダム湖のグラフはH25.2までは湖岸の採取可能な水辺、H25.5以降は湖心の底質の放射性セシウム (Cs-134, Cs-137) の調査結果を記載しています。
- ・図11の深田橋 (関山川)、図12の境橋 (境川)、図13の竹の内橋 (八反川)、図15の根本橋 (根古屋川)、図16の大塚川合流下 (木血川) のH24.1月調査分は、水分補正を実施していない状態 (原体) の調査結果を記載しております。
- ・調査地点の○内に国と記載している地点は環境省が調査している地点を示します (水沼ダム湖はH25.6から国で調査)。
- ・調査地点の○内の番号 (数字) は、市で調査した「河川底質の放射性物質濃度の調査結果 (R4.10.12)」のN°欄の番号と同じになります。
- ・第一神岡橋 (江戸上川) 及び新橋 (塩田川) の調査年月のH23.9は環境省、H24.6以降は市で調査した結果を記載しています。
- ・なお、グラフ表示の都合、調査結果の一部を省略してグラフ化しております。すべての調査結果は、別途「河川等底質の放射性物質濃度の推移状況」でご確認ください。